

戦略2 農林水産戦略

現状・課題

[世界的な食料不安の顕在化]

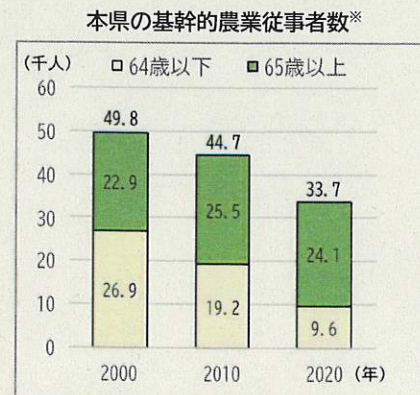
世界的な人口の増加や地球温暖化の進行等を背景とした食料不安が顕在化する中、本県は広大な農地を有する食料供給県として、農業の生産力・収益力を維持・増大していくことが求められています。

[労働力不足の深刻化]

農業の担い手や労働力不足が深刻化する中、本県の広大な農地を維持・活用することが難しくなっています。

[環境負荷軽減への対応]

SDGsや環境を重視する国内外の動きが加速していくと見込まれる中、地球環境への負荷が小さく、持続性が高い環境保全型農業等の取組の拡大が求められています。



※ふだん仕事として主に自営農業に従事している者の数

出典：農林水産省「農林業センサス」

[カーボンニュートラルの実現への貢献]

我が国が目指す“2050年カーボンニュートラル”の実現に向け、森林による二酸化炭素の吸収や木材による炭素の貯蔵効果に期待が高まる中、豊富な森林資源を有する本県の役割が注目されています。



豊富な森林資源

[再造林の伸び悩み]

利用期を迎えたスギ人工林の皆伐が進む中、将来の森林資源の確保をはじめ、森林の若返りによる二酸化炭素吸収量の向上や、多面的機能の持続的な発揮に不可欠な再造林の実施が、林業経営の採算性の低迷等を背景に伸び悩んでいます。



出典：県調べ

戦略2の ねらい

食料供給県として、農業や水産業の生産力・収益力の維持・増大を図るとともに、森林の多面的機能の発揮と資源の循環利用の両立による林業・木材産業の成長産業化や、農山漁村の活性化を図ります。

戦略2が目指す“4年後の姿”

目指す姿1 農業の食料供給力の強化 (P54)

経営力の高い担い手が持続的・効率的な生産体制により、本県の広大な農地を最大限に活用して食料供給を担う農業の実現を目指します。

“四つの元気”

Res Sus Pre Div

< 施策の方向性 >

- ① 経営力の高い担い手と新規就農者の確保・育成 (P54)
- ② 持続可能で効率的な生産体制づくり (P54)
- ③ マーケットに対応した複合型生産構造への転換 (P55)
- ④ 戦略的な米生産と水田のフル活用の推進 (P56)
- ⑤ 農産物のブランド化と流通・販売体制の整備 (P56)



目指す姿2 林業・木材産業の成長産業化 (P58)

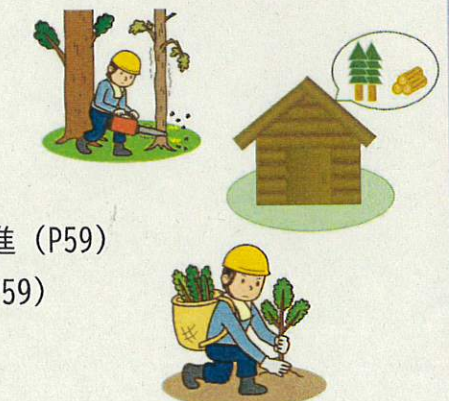
“伐って・使って・植える”という森林資源の循環利用により、林業・木材産業の成長産業化と森林の多面的機能の持続的な発揮の両立を目指します。

“四つの元気”

Res Sus Pre Div

< 施策の方向性 >

- ① 次代を担う人材の確保・育成 (P58)
- ② 再造林の促進 (P58)
- ③ 木材の生産・流通体制の整備と利用の促進 (P59)
- ④ 森林の有する多面的機能の発揮の促進 (P59)



目指す姿2 林業・木材産業の成長産業化



秋田林業大学の研修生



植栽作業



高性能林業機械による丸太の造材作業



県産材を利用した住宅

施策の方向性① 次代を担う人材の確保・育成



秋田林業大学を核として、高度な技術を有した即戦力となる人材を育成するとともに、多様な人材が就業・定着しやすい環境整備を進めます。

【主な取組】

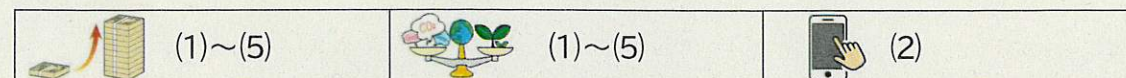
[即戦力となる人材の育成]

- (1) 実践的な研修による高い技術とマネジメント能力を有する人材の育成
- (2) 高性能林業機械やICT等を活用した新しい林業に対応できる人材の育成

[新規就業者の確保・育成]

- (3) 無料職業紹介所等を通じた林業従事者の確保
- (4) 移住を含めた多様な新規就業者の確保・育成
- (5) 就業者の定着に向けた労働環境の改善の促進

《 選択・集中プロジェクト 》



施策の方向性② 再造林の促進



林業経営体への造林地の集積や低コスト・省力造林技術の普及拡大により、再造林を促進します。

【主な取組】

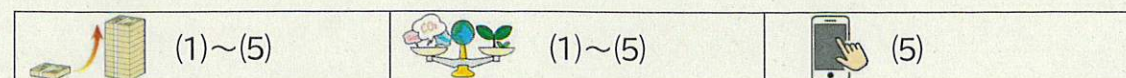
[林業経営体への造林地の集積]

- (1) 林業経営体が植栽から保育・管理までを担う仕組みの構築
- (2) 森林所有者に収支プランを示しながら再造林を提案できる人材の育成

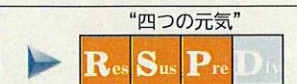
[スマート林業など低コスト・省力造林技術の普及拡大]

- (3) 実践フィールドの活用等による低コスト・省力造林技術の普及
- (4) 優良な苗木の開発と安定供給体制の構築
- (5) 造林・保育分野へのスマート技術の導入の促進

《 選択・集中プロジェクト 》



施策の方向性③ 木材の生産・流通体制の整備と利用の促進



川上から川下まで一体となった木材総合加工産地の確立に向け、低コストで安定的な木材の生産・流通体制を構築するとともに、木材製品の加工・流通体制の強化や、国内外における県産材の販路拡大を進めます。

【主な取組】

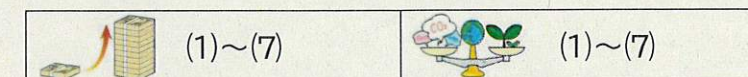
[原木供給力と加工・流通体制の強化]

- (1) 路網整備と高性能林業機械を組み合わせた効率的な生産体制の構築
- (2) 原木需要の拡大に対応できる円滑な流通システムの構築
- (3) 多様なニーズに対応した高品質な木材製品の生産・供給体制の構築
- (4) 木質チップの安定供給に向けた生産・利用体制の整備の促進

[県産材の販路の拡大]

- (5) 住宅分野における外材や他県産材から県産材への転換の促進
- (6) 非住宅分野における一般流通材の活用の促進
- (7) 県内企業による製材品の輸出の促進

《 選択・集中プロジェクト 》



施策の方向性④ 森林の有する多面的機能の発揮の促進



水源かん養機能など森林が持つ多面的な機能が十分に発揮されるよう、森林所有者に加え、ボランティアや市町村など多様な主体による森林整備を進めるとともに、森林病虫害対策や景観保全に向けた取組を促進し、森林の健全化を進めます。

【主な取組】

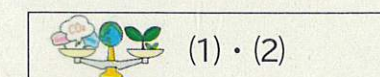
[多様な主体による健全な森林づくり]

- (1) 森林経営管理制度に基づく市町村が主体となった森林整備の促進
- (2) ボランティア団体や学校等が行う森林整備活動の促進

[森林病虫害対策と景観保全]

- (3) 市町村や森林組合等が行う森林病虫害対策の促進
- (4) 生活環境や景観の保全につながる里山林整備の促進

《 選択・集中プロジェクト 》



成果指標

指標名	単位	実績値		目標値				出典
		2019	2020	2022	2023	2024	2025	
① 新規林業就業者数	人	146	122	134	134	134	134	県調べ
② 再造林面積	ha	338	332	556	604	675	750	県調べ
③ 素材生産量（燃料用を含む）	千m ³	1,583	1,425	1,710	1,750	1,870	1,900	県調べ
④ スギ製品の出荷量	千m ³	634	530	712	731	742	752	県調べ
⑤ 森づくり活動等への参加者数	人	23,362	12,758	24,000	24,000	24,000	24,000	県調べ